



やまて図書



シノドス(世界代表司教会議)の歩みが始まります

2021年10月10日、バチカン聖ペトロ大聖堂で「世界代表司教会議(シノドス)第16回通常総会」の開幕ミサがあり、横浜教区でも梅村昌弘司教司式で10月23日の主日にミサがささげられました。今回のテーマは「ともに歩む [=シノドス的] 教会のため — 交わり、参加、そして宣教」です。聖職者と修道者だけではなく、信徒も参加することを求められています。(教会報『やまて』621号をご覧ください)



シノドスの後には『使徒的勧告』という教皇文書が交付されます。これまでの教皇文書が図書室にありますので読んでみませんか。

(画像と参考: カトリック中央協議会 HP)

教会歴
12月

12月 (抜粋)

12月2日(木・週・緑) 日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル
12月5日(日・主・白) 待降節第1主日
12月8日(水・祭・白) 無原罪の聖マリア
12月12日(日・主・紫) 待降節第2主日

12月13日(月・記・赤) 聖ルチアおとめ殉教者
12月19日(日・主・紫) 待降節第3主日
12月25日(土・主・白) 主の降誕
12月26日(日・祝・白) 聖家族
12月28日(火・祝・赤) 幼児殉教者



シノドスのための祈り

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住まいください。わたしたちに進むべき道を教え、どのように歩めばよいか示してください。弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。無知によって誤った道に引き込まれず、偏見に惑わされないよう導いてください。あなたのうちに一致を見出すことができますように。わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。このすべてを、いづどこにおいても働いておられるあなたに願います。御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。アーメン。

(参考: カトリック中央協議会 HP)

シノドス後に公布される使徒的勧告・・・て、なあに？

使徒的勧告とは教皇が公的に出される文書の一つ。「回勅」「使徒的勧告」「使徒的書簡」など、これらの文書には格付けがある。

回勅…………… 教皇の権威をもって、全世界の司教、信徒に発信する文書で、教皇の出す公文書の中でいちばん重要なもの。教皇が信者の信仰生活を指導することなどが目的になる。

使徒的勧告… 第2バチカン公会議後、4年に1度開催されるシノドス(世界代表司教会議)で、世界中の司教の代表が討議した結論を教皇に提出し、教皇がそれに加筆して公布するもの。

使徒的書簡… 教皇による公的な書簡(手紙、書状)形式のもので「使徒的勧告」の次に位置づけられている。

読んでみてね

当図書室には、以下の教皇文書があります。

回勅

教皇ベネディクト十六世 『希望による救い』
教皇ヨハネ・パウロ二世 『教会にいのちを与える聖体』、『キリスト者の一致』、『いのちの福音』、『真理の輝き』

使徒的勧告

教皇ヨハネ・パウロ二世 『信徒の召命と使命』、『和解とゆるし』、『奉献生活』

使徒的書簡

教皇フランシスコ 『父の心で』
教皇ヨハネ・パウロ二世 『主よ、一緒にお泊りください』

(参考: カトリック中央協議会 HP、女子パウロ会 HP)